

事象関連電位をどう使うかー若手研究者からの提言 (6)

本ワークショップでは、事象関連電位 (ERP) 研究を始めたばかりの人、ERP に興味はあるがどうつきあってよいか分からない人、実際に研究しているがなにか行き詰まりを感じている人を対象に、その魅力や楽しさを伝えることを目指してきた。シリーズ 6 回目となる今回はミスマッチ陰性電位 (MMN) をとりあげる。Naatanen らによる聴覚 MMN の発見から約 30 年、この成分は認知神経科学、臨床神経科学といった様々な分野において重要な役割を果たしてきた。今回は 3 名の話者提供者が「聴覚 MMN の基礎・時間統合機能に関連する duration-MMN の特異性・その臨床応用 (矢部)」、「聴覚 MMN による知覚の体制化の研究・その発達研究への応用 (竹形)」、「視覚 MMN の基礎・その応用可能性 (木村)」というトピックを中心に近年の研究を紹介する。MMN 研究の現在までの到達点を概観することで、心理学における ERP 研究の意義・面白さを再発見できる機会を提供できればと考える。

企画・司会：木村 元洋 (日本学術振興会・名古屋大学・ライプツィヒ大学)
話者提供：矢部 博興 (福島県立医科大学)
話者提供：竹形 理佳 (ヘルシンキ大学)
話者提供：木村 元洋 (日本学術振興会・名古屋大学・ライプツィヒ大学)
指定討論者：入戸野 宏 (広島大学)